

第1回理事会議事内容

- ◆ 日 時 : 令和元年5月28日(火) 10:00～10:45
- ◆ 場 所 : 東京・永田町「自由民主会館 5F 第1ブロック会議室」
- ◆ 出席者 : 理事 14 名 清水 武会長 中村隆輔副会長 山本富夫副会長 梅澤昭夫副会長
岡本啓志常務理事 栗栖龍男理事 丹波信二理事 春瀬隆昭理事
地曳 武理事 松原繁光理事 筒井 弘理事 古川芳男理事
広川幸則理事
監事 1 名 大澤 勉監事
- ◆ 遅刻者 : 理事 1 名 高橋功四郎理事

冒頭司会の丹波信二理事より定款 32 条の定足数を満たしていることが報告され、今理事会の成立を宣言。

1. 開会の挨拶

山本富夫副会長より、改元後初の令和元年第1回理事会を開会することが宣言された。

2. 会長の挨拶

清水 武会長より、挨拶。

(内容：はじめに前回の理事会での承認に基づき、その後開催した三役会において次期理事・監事候補者については、全員が留任となったことを報告。それを踏まえ今後は日鳶連理事の結束を固めていかないと様々な事業に支障をきたすことを理事の方々には十分認識していただきたいと示された上で、今回1名の遅刻について大変残念であることを言及された。さらに本日の決起大会では、国会議員を含む各方面の来賓の方々の出席に言及し、多方面において日鳶連の動向に注目していることを認識していただきたいと挨拶された。)

3. 議長着席

中村隆輔副会長が議長に選出。

4. 報告事項

(1) 一般経過報告

前回の理事会開催以降の平成31年3月29日(木)～5月27日(月)までの日鳶連、各都道府県連、関係団体等に関する会議、行事等に関して報告。

(2) 会員等移動状況報告

平成 31 年 3 月 29 日(木)～令和元年 5 月 27 日(月)までの会員移動状況及び会員増減数について入会者数 14 名、退会者数 33 名がそれぞれ報告された。

5. 議 事

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告案承認に関する件

岡本啓志常務理事より、平成 30 年度の各対策事業に関する報告が提案され、議場に諮ったところ満場一致を以って承認。

第 2 号議案 平成 30 年度収支決算承認に関する件

(1) 収支決算報告

事務局より平成 30 年度収支決算案について報告。

(2) 監 査 報 告

大澤 勉監事より、平成 30 年度収支決算案の報告に基づき監査報告が示された。

以上議場に諮ったところ満場一致を以って承認。

第 3 号議案 代議員の任期変更に関する件

中村隆輔副会長より、代議員の任期について、令和 3 年の次回役員改選期と代議員の任期を合わせることを目的とした今定期総会への上程案が示され、議場に諮ったところ異議なく承認。

第 4 号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件

清水 武会長より任期満了について挨拶でも示したとおり前回理事会での承認に伴う先の三役会での協議により新たな理事・監事候補者については全員留任とさせていただく決議となったことが報告され、今定期総会の上程案とすることについて議場に諮ったところ異議なく承認。

さらに、現行理事の承認を受け各理事・監事候補者については、就任承諾書と就任誓約書を今理事会終了後に提出することも了承された。

第 5 号議案 専門委員の選任並びにブロック・都道府県連絡網案の承認に関する件

岡本啓志常務理事より専門委員会体制の刷新案を提案。内容については、統括委員会を設置し、その統括委員会を中心に講習委員会、技術委員会、新規会員・団体保険・購買委員会、総務委員会の四つの事業に基づく委員会に分ける体制とし、各委員会の委員の構成については、総務委員会は現行理事の方を選任し、その他の委員会の委員は、一部の委員について次代を担う若手会員を抜擢し、選任したことを説明。

さらに、岡本常務理事からは今後の日鷹連における理事会での決定事項をしっかりと各県連会長に周知するための各ブロック・都道府県連絡網案を提案したところ、栗栖理事よ

り、第1ブロックの連絡体制に関し、以前の理事3名体制から現在高橋功四郎理事の1名となっていることについて理事1名での今後の対応の可否に関する質問があり、それについて高橋理事からは、これまでもある程度は東北ブロック会議(?)で他の県連には報告しているとの回答が示されたが、岡本常務理事より今回6月に北海道で開催の登録・土工基幹技能者講習の講師に関して第1ブロックの講師登録者がいるにも拘らず調整できず他のブロックから派遣することとなったことが報告され、そうした働きかけも含め理事の役務であることが示されたが、高橋理事からは、北海道への講師派遣については、北海道の件に関する詳細な報告がないので調整は難しいとの返答が示されたが、それについては、清水会長から、北海道については前回理事会で報告済みで議事内容でも示し、各都道府県連に周知していると説明。さらに、今後は第1ブロックに限らず理事会への欠席や遅刻により理事会での内容を把握していないなどにより現行の理事だけでは各都道府県連への連絡体制が困難な場合には、新たに理事を増やすことも念頭に入れ、あくまでも理事自らが積極的に日鷹連事業を理解していただき、提案された連絡網に基づきブロック内の各都道府県連に的確に発信していただきたいとの見解が示された。

以上の提案を議場に諮ったところ異議なく承認された。

第6号議案 第54回定期総会、決起大会の進行に関する件

理事会終了後の午前11時より開催の第54回定期総会に関する出席予定数及び来賓予定者の報告に続き、次第に沿った各担当者及び終了時刻の目安を提案。さらに続く、午後13時からの令和元年日鷹連決起大会については、各次第内容を説明。その中で、特質すべき事項として壇上での感謝状・表彰状・任命書等の授与に関して、岡本啓志常務理事より授与を受ける方のお名前の読み上げ方や壇上での整列等などの所作、振る舞い、代表授与など細部にわたって説明。

以上について議場に諮ったところ異議無く承認された。

第7号議案 第2回転地理事会に関する件

栗栖龍男理事より、前回理事会での三役一任に基づき、第2回転地理事会の開催について開催日時を令和元年7月24～25日の2日間とし、開催地として宮城県仙台市で調整することが報告された。

さらに、議事では一昨年の理事会決議による毎年度転地理事会時等の積立金として出欠の有無にかかわらず納付している理事並びに専門委員の年会費についても協議し、理事会費については昨年と同額の120,000円、各専門委員の年会費については100,000円とすることが提案され、議場に諮ったところ異議無く承認された。

なお、開催案内については、各理事、専門委員の現地までの行程等を確認した上で開催について調整し、後日理事、専門委員宛に送付の上、出欠について返答頂くこととなった。

6. 閉会の辞

中村隆輔副会長より挨拶。